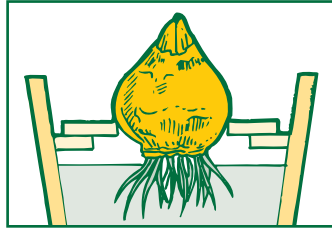


球根の水栽培

ヒヤシンスやクロッカスはガラスの専用容器に入れて水栽培できます。

<コツ>

- 水は球根の底に少しつくくらいに。
- 水温は15℃以下に。水温が上がると根が腐り、バクテリアが繁殖して球根がダメージを受けます。
- 暗い場所に約1ヶ月ほど置いておきます。



<根が成長したら>

- 明るい室内に移します。
- 球根そのものに養分をいっぱい蓄えているので、肥料は必要ありません。
- 根が容器の3分の2まで伸びてきたら水を少し減らします。
- 十分に根が成長したら球根の底を空気に当てます。

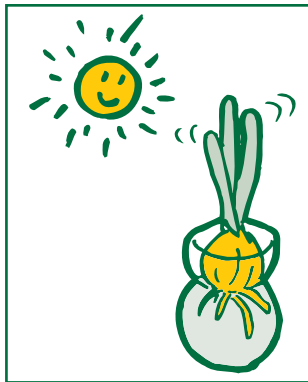
<水>

- 透明であれば花が終わるまでそのままでも大丈夫です。
- 減ったら足し、にごったら取り替えてください。
- 水の取り替えは、容器ごと傾けて水を出し、球根のすき間から水を注ぎ入れるようにしてください。
- 水の中に木炭を2、3個入れておくと、水が浄化されてにごりにくくなります。



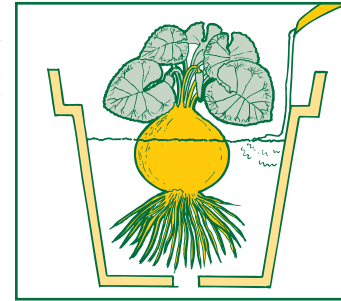
発芽した秋植え球根の管理

12月頃になるとチューリップやヒヤシンス、タッチアイリス、ムスカリ等育ちのいい球根は地表に芽を出し始めますが、そのままにして下旬まで寒さに慣れさせて、十分に日光に当ててやり、本格的な寒さになってから防寒してください。水やりは異常に乾燥さえしなければ必要ありません。寒さにさらさないようにビニールカバーや敷きわらで防寒すると、伸びすぎてしまって1月頃の本格的な冬になると傷んでしまいます。



ここがポイント!

- シクラメン、グロキシニア等の球根は深植えは禁物で、半分ほど球根を地表に出して植えつけます。また、葉に水がかかると球根が腐りやすくなるので、水やりは葉を濡らさないように工夫してください。



- チューリップ、ヒヤシンス、アイリス、フリージア、スイセン等は発根した根が切られると、後から根が出にくくなりますので、植え替えはできるだけ避けたいでしょう。やむを得ず植え替えしたいときは、つぼみが色づいてからにしましょう。
- 肥料は花が終わった後に、速効性の肥料を追肥しておくといいでしょ。

園芸全般については、当店グリーンアドバイザーが、ご質問にお答えいたします。お気軽にお声をおかけ下さい。

サービスのご案内



配送・ベカン便 切り売り商品 修理



返品・交換 表札、額の受注 スペアキーづくり

- クレジットもご利用になれます。



制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進部
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111(大代表)

球根の植え方・育て方

自分でやってみよう!

セキチュー
How to D.I.Y

85



球根の草花は、球根の保存で毎年楽しむことができますし、プランター栽培やポット栽培が手軽に楽しめるので、人気があります。春植え秋咲き、秋植え春咲き等の種類別に、植える深さや育て方などをよく知ることが球根を楽しむコツです。

球根の植え方と育て方の基本

春植え球根の種類

アマリリス・カラー・カンナ・グラジオラス・シクラメン・クルクニ・ジンジャー・ダリア・チューペローズ・サギソウ・シュウカイドウ・グロキシニ

夏植え球根の種類

ショウオウラン・ヒガンバナ・ナツスイセン・オキザリス・スノーフレア

秋植え球根の種類

アイリス・アネモネ・アリウム・クロッカス・コルチカム・スイセン・スノードロップ・チューリップ・ヒアシンthus・フリージア・ムスカリ・ユリ・ラケ

球根の植え方

植えこむ前にベンレート水和剤やダコニール等の溶液に30分ほど球根を浸しておいてから植えこむと、球根は腐敗病にかかりにくくなります。

【じか植えの場合】

ユリの場合は球根の3倍の土がかぶるほど深く植えます。

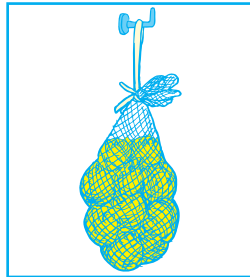
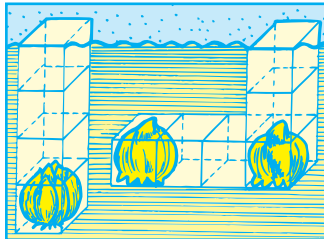
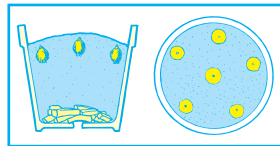
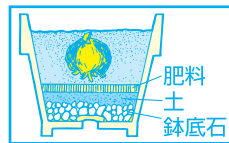
ほとんどの球根は球根の2倍ほどの土がかぶるような深さに植えます。間隔も球根の2倍の間をあけてください。したがって球根が大きい場合は、深く、間隔もあけなければなりません。

【鉢植えの場合】

球根の先が隠れるぐらいの深さに、元肥は球根にふれないようにします。

【オキザリスの場合】

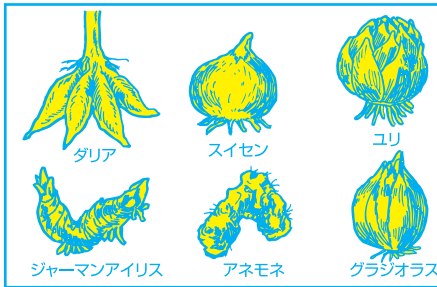
水をたっぷりやれるように真ん中を盛り上げてウオータースペースをつくります。球根は浅く植えます。排水がいいように石や鉢のかけらを底に入れます。



球根の掘り上げと保存方法

球根は地表にある葉や茎が黄変し、枯れてきてから掘り出し、分球して保存します。陰干しをしてから土をていねいに落とし、ネットに入れて風通しのいい半日陰に吊しておきましょう。

またダリアやユリ、カンナ等は乾燥させないで、湿った砂やおがくず、もみから、パーミキュライトの中に、互いにふれないように注意して入れておきますが、凍ると腐ってしまうので、ポリ袋に入れて土の中に約50cmぐらいの穴を掘って埋めておきましょう。雪の降る地域では、乾燥させないようにして室内で保存しましょう。



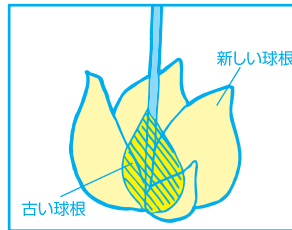
分球の仕方

分球は球根のタイプによって変わってきます。

【層状鱗茎】

母球が消耗するタイプ (チューリップ等)

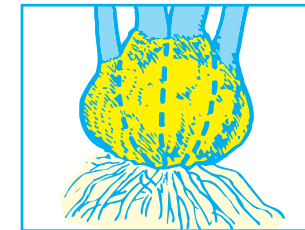
新しい球根ができて、古い球根は自然にしなびてなくなり、自然に分球します。地上にある部分が黄変したら掘り上げて分けます。



【層状鱗茎】

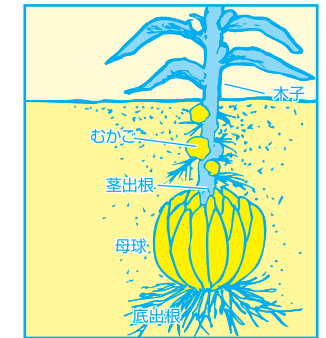
母球が消耗しないタイプ (スイセン等)

新球は2、3年経つと、自然分球しますので、とりはずして分けます。しかし無理に分けたりすると傷がついて、成長しなくなるものも出てきます。



【鱗状鱗茎】(ユリ等)

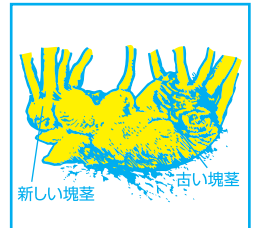
分球しますが、木子やむかごを植えて増やすこともできます。



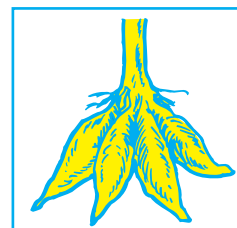
●球茎(グラジオラス等) 自然分球します。地上にある部分が黄変した頃に掘り上げて分けます。木子も1年肥培すると花をつける球根になります。



●塊茎 (アネモネ等) 側根から新しい塊茎がつくられるので、消毒した刃物で切り離し、切り口には殺菌剤を塗ってから植えてみます。



●塊茎(ダリア等) 肥大した球根がたくさんできますが、それぞれには根がないので、消毒した刃物で必ずクラウンをそれぞれにつけた形で切り分けます。

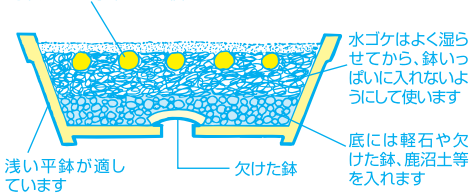


●根茎(カンナ等) 消毒した刃物で1~3目ずつに、春に切り離し、切り口には殺菌剤を塗って植えてみます。



サギソウの鉢づくり

球根の上に1~2cmの覆土
球根は4、5号鉢で5、6個



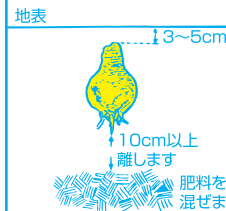
カンナの植え方

乾燥させた牛糞で土の上を覆います(マルチング)



アマリリスの植え方

〈露地植え〉



〈鉢植え〉



グロキシニアの増やし方

【芽ざし】

新芽が伸びたら切り離し、浅くさしてください。川砂は水まけをよくします。

【分球】

切り口は腐りやすいので、草木灰かベンレート粉剤等を塗ってください。浅植えにして、表面から1cmぐらい下に球根を植えてください。腐葉土4赤玉土4川砂3の配合土に化成肥料を1g当たり2~3g混ぜます。

